

生産方式革新実施計画の概要【ファーム藤井】

2026年
4月23日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム



新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

ファーム藤井（山形県尾花沢市）

経営概況（2026年4月時点）

経営規模：水稲35ha、ソバ27ha

従業員数：1名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



ファーム藤井 藤井代表



栽培管理システム（KSAS）

～認定を受けて一言～

地域の担い手とデータを共有しながら栽培技術を向上させ、今後の地域のビジョンをしっかりと確立し、子供達が尾花沢で夢と希望を持ちながら儲かる農業をしてみたい！と思えるきっかけとなるようなモデル地区にしていきたいことが私の夢です。